

2025 年 11 月 7 日

株式会社三菱 UFJ 銀行
株式会社みずほ銀行
株式会社三井住友銀行
三菱 UFJ 信託銀行株式会社
P r o g m a t , I n c .

複数の銀行による共同でのステーブルコイン発行とクロスボーダー決済の高度化に係る
実証実験が金融庁「FinTech 実証実験ハブ」の支援案件に採択

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}）、株式会社みずほ銀行（取締役頭取 加藤 勝彦^{かとう まさひこ}）、株式会社三井住友銀行（頭取 CEO 福留 朗裕^{ふくとめ あきひろ}）、三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長 窪田 博^{くぼた ひろし}）、Progmatt, Inc.（代表取締役 齊藤 達哉^{さいとう たつや}）は、複数の銀行による共同でのステーブルコイン（以下 SC）発行と、それを用いた三菱商事株式会社（代表取締役 社長 中西 勝也^{なかにし かつや}）のクロスボーダー決済の高度化に係る実証実験について、金融庁「FinTech 実証実験ハブ」の支援案件に採択されましたのでお知らせします。

1. 実証実験の概要

銀行を共同委託者、信託銀行を受託者とする信託契約に基づき、資金決済に関する法律第 2 条第 9 項に規定する特定信託受益権として SC を発行し、三菱商事株式会社の日本拠点と海外拠点との間で、クロスボーダー決済に用いることができるか検証します。

本実証実験での三菱 UFJ 信託銀行株式会社による SC の発行等に必要な基盤・技術提供は、Progmatt, Inc.が支援します。なお、共同発行を検討する 3 行で要件定義と評価基準策定を行い、具体的なスキームを構築します。

また、SC 発行の委託者たる銀行におけるサービス設計に応じた規制対応や、受託者たる信託銀行が講じるべき利用者保護措置等に係る実務対応等のあり方を検証します。

2. 実証実験の目的

ブロックチェーン技術を活用した決済高度化については、国内外でトークン化預金や SC の活用が検討され、実証実験等の動きが活発化しています。斯かる中、本実証実験を通じて、共同での SC 発行に関する実務的な知見を蓄積し、将来的に多数の SC 利用者やユースケースが現れた際にも、本実証実験の成果を活かすことを企図します。

以 上